

ご挨拶

平素は、環境行政、地球環境基金、及び全国ユース環境ネットワーク促進事業にご協力賜り、御礼申し上げます。

現在、地球上では二酸化炭素等による温暖化や熱帯林の減少、生物多様性の損失など様々な環境問題が深刻化しており、大雨や猛暑等、身近な気候の変化からそれらを感じるが多くなってきました。

こうした状況の中、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、昨年11月にイギリスで開催を予定していた地球温暖化対策について話し合う国連の国際会議（COP26）が今年11月に延期されるなど、環境問題に対する国際的な取組みにも大きな影響が及びました。

一方で、我が国では昨年10月の臨時国会において菅総理大臣から「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」という宣言がなされ、続いて今年4月に「2030年度の温室効果ガスの削減目標を、2013年度比で46%削減する」という目標が発表されたことを皮切りに、国内の脱炭素社会の実現に向けた機運が一層高まり、官民の枠組みを超えてさまざまな取組みが始まっています。このような困難な時期であるからこそ、多様な主体が力を合わせて、人類共通の課題である環境問題に向き合うことが必要です。

独立行政法人環境再生保全機構では、環境省とともに「全国ユース環境ネットワーク促進事業」を2015年度から実施しており、その一環として、「全国ユース環境活動発表大会」を開催しています。昨年度に続き、今年度も参加校が一堂に会して発表、交流する機会を設けることはできませんが、高校生の皆さんが取り組む活動の発表動画を広く公開することで、同世代が行う環境活動を知るとともに、全国のユース世代がつながり、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成へ向けて、パートナーシップを築いていくことを期待するものです。

皆様方におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、積極的な参加をいただきますよう、お願い申し上げます。



独立行政法人環境再生保全機構
理事長 小辻 智之

〈全国高校生環境活動アンケート〉ご協力ありがとうございました。

2021年6月、全国の高校が新型コロナウイルスへの対策を進めている中、今年も環境活動を実践している全国の高校の先生方を対象に、活動の実施状況や当発表大会への参加ご意向などに関するアンケートを実施いたしました。結果、多くの先生方から高校の実際の状況についてご回答をいただきました。

いただいた貴重なご意見をもとに、環境省、国連大学、環境再生保全機構で組織する実行委員会で協議し、「第7回全国ユース環境活動発表大会」の開催についての準備を進めさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

（対象：第4回～第6回 ユース大会への全国応募高校を中心に依頼 対象：255校 ⇒ ご回答：121校）

集計結果

(Q1) 今年度の環境活動実施状況と今後の見通し

全 121 高校

- | | |
|---|-------|
| ☐ 活動を実施している | 82 高校 |
| ☐ 活動停止中だが、近いうちに再開予定 | 12 |
| ☐ 現時点で活動再開の予定・見込みがたっていない | 13 |
| ☐ 今年度は実施しない予定 | 1 |
| ☐ その他（以下にご自由にお書きください） | 13 |

活動（予定含）
77.7 %

活動無し
11.6 %

(Q2) 今年度の全国ユース環境活動発表大会への応募見込み

- | | |
|--|-------|
| ☐ 会場開催、Web 開催いずれも参加可能 | 52 高校 |
| ☐ 会場開催であれば参加可能 | 6 |
| ☐ Web 開催であれば参加可能 | 20 |
| ☐ 応募したいと考えているが今年度は難しい | 27 |
| ☐ 応募する予定はない | 16 |

どちらも参加可
43.0 %

会場参加可
5.0 %

Web参加可
16.5 %

ご意見

多数いただきました。以下、その一部をご紹介します。

いつも貴重な機会をつくってくださり、ありがとうございます。今年度も、新型コロナウイルスの影響が懸念されますが、会場大会・Web 大会のどちらでも参加できるよう準備を行っていきます。

大会は、いつもの学校生活とは違う非日常の中で他校の先進事例実践を聞いたり、同じ高校生同士で交流し、お互いを高めあう貴重な機会だと思います。新型コロナウイルス感染拡大の中でなかなか大変だとは思いますが、教育効果を考え、ぜひ会場実施をお願いいたします。

昨年度はオンデマンド、YouTubeでの視聴ができました。非常に充実した学びができました。大会に参加した生徒の満足度が高かったです。